

519その他の危険物、有害物等を起因物とする死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労 働 者 規 模
1	2018	1	16 ～ 17	配送を終え、敷地内に戻り、トラックを洗車していた際、風に煽られた洗剤が左目に入り痛みを感じた。	52	12	170101	10 ～ 29 人
2	2018	1	16 ～ 17	運搬業務を終え、製造プラント内にて、車両を洗車していた際、風に煽られた洗剤が左目に入り、痛みを感じた。	52	12	150102	50 ～ 99 人
3	2018	2	21 ～ 22	防水塗装工事中、エポキシ樹脂を使って塗装をしていた際、顔に痒みが出て腫れ、目も痛くなった。	23	12	30209	1～ 9人
4	2018	2	12 ～ 13	フライヤー清掃作業中、床面で滑り腕から転んで右腕を火傷した。	66	11	80209	30 ～ 49 人
5	2018	2	0 ～ 1	フライヤー用の油を交換用の缶に移し、移した油缶を移動させようとしたところ、油缶が傾いて右肘から手の甲にかけて油が掛かり、右腕を火傷した。	44	11	140201	—
6	2018	2	6 ～	コンベアを洗浄しようと湯沸かし器のレバーをひねった際、湯沸かし器の蓋からお湯が漏れ、右手の親指のつけ根付近を火傷し	61	12	10104	50 ～

			7	た。					99 人
7	2018	2	6 ～ 7	コンベアを洗浄しようと湯沸かし器のレバーをひねった際、湯沸かし器の蓋からお湯が漏れ、右手の親指のつけ根付近を火傷した。	61	12	170101		50 ～ 99 人
8	2018	2	10 ～ 11	入居者の紅茶を入れるため雪平鍋でお湯を沸かして注ごうとした際に、持ち手がぐらついていたため、回ってしまい熱湯が右足に掛かって負傷した。	60	11	130201		10 ～ 29 人
9	2018	3	11 ～ 12	ボイラー室内にて、ラインポンプ交換作業を施工、作業終了後、左斜め後方のエア管に接触した。腐食していたため、管が折れてしまい、管から熱湯が吹き出し、作業者の左腕から脇下にかけて湯が掛かった。	37	11	30203		1～ 9人
10	2018	3	4 ～ 5	ボイラー缶水調整用の薬剤保管場所で、定常作業である薬剤（清缶剤：水酸化ナトリウム16.8%）の補充を行う際に発生した。薬剤を投入容器へ取り分けようとした際、コックのキャップを外したところ、残液がはね、被災者の目に入ってしまい、角膜炎をおこした。	48	12	10909		50 ～ 99 人
11	2018	3	15 ～ 16	ホール仕事の最終片付け最中、ポットの湯を捨てるのに持ってきた台に置いた場所が浅かったため、たおれてきて湯がひざ下にかかった。	63	11	140201		10 ～ 29 人
12	2018	4	11 ～ 12	当社工場内で機械加工の終わった製品（縦200mm×横250mm、重さ約2kg）を防錆処理するため、20ℓ容量の缶の中に入れ錆止め材をステンレスの鉢を使い攪拌しているときに、錆止め材が目に入り両目を受傷した。	58	4	11301		30 ～ 49 人
				厨房内洗い場で洗剤の入った容器（四角の形状で回りは段ボール					

13	2018	4	20 ～ 21	で囲まれている) のコックを取り付けたとき、コックのついた面を横にし、コックをひねってしまったため、洗剤が出て足に掛かり右足ふくらはぎ内側、左膝が強力洗剤NCによる化学火傷となる。	16	12	140201	10 ～ 29 人
14	2018	4	7 ～ 8	工場内の貯水庫隣接プラットホームにて、レスコールN-125の空き缶処理作業をしていた。空き缶を潰してから廃棄置き場に廃缶を置き、潰す前に、注入口のキャップを外そうとペンチで外した際に、キャップに付着していた液がはねて左眼に入ってしまった。	45	12	10109	100 ～ 299 人
15	2018	4	18 ～ 19	店舗厨房で調理の補助作業をしていた際、棚から鍋を取ろうとしたところ、鍋に高温の油が残っていたため、こぼれてしまい手にかかって火傷した。	46	11	140201	30 ～ 49 人
16	2018	4	15 ～ 16	厨房でフライヤーの油をかえるときに不安定な状態で行い、左前腕にやけどをした。	68	11	140309	10 ～ 29 人
17	2018	4	13 ～ 14	被災者は共同作業員5名、計6名で、キルンバケットエレベーターの補修作業に従事した。被災者は共同作業員内1名とピット内に入りバケットチェーン等の溶接作業に従事していたところ、突然COが発生してピット内の2名が吸い込んで倒れた。	45	12	11101	50 ～ 99 人
18	2018	4	13 ～ 14	被災者は共同作業員5名、計6名で、キルンバケットエレベーターの補修作業に従事した。被災者は共同作業員内1名とピット内に入りバケットチェーン等の溶接作業に従事していたところ、突然COが発生してピット内の2名が吸い込んで倒れた。	38	12	11101	50 ～ 99 人
19	2018	4	21 ～	店内キッチンにてフライヤーを洗浄するため、栓を開いて油を油受けに落としていたが、油を抜く栓を確認せず、開きすぎている	21	11	140201	30 ～

			22	ため、溢れ出た油が右足の甲にかかり、火傷した。				49 人
20	2018	4	14 ～ 15	当工場内で鑄鉄溶解湯をルツボより柄杓に取り、鑄型に注湯する 作業中、足のバランスを崩したために柄杓より溶解湯がこぼれ安 全靴をはいていた右足にかかり火傷を負った。	63	11	11002	10 ～ 29 人
21	2018	4	23 ～ 24	電気炉による溶解作業中、酸素を炉に供給する機械が止まったの で原因を調べていたところ他の作業者とともに火災に巻き込まれ 火傷した。	28	16	11001	50 ～ 99 人
22	2018	5	12 ～ 13	2階の作業場内にてマスク製造本機のサブタンク内の汚れをマイナ スドライバー、ラジオペンチ、不良品マスクを使用し清掃してい た。清掃後マクロメルトが付いたマスクを捨てようとした際に、 左手にマクロメルトが付着してしまい、慌てて右手（素手）でマ クロメルト付きのマスクをとってしまい右手を火傷、更に左手で 取ってしまい火傷箇所が拡大した。	53	11	10209	300 ～ 499 人
23	2018	5	13 ～ 14	店内のキッチンにて、スープを調理中、大量の熱湯を移し替える ため、床に置いた鍋に熱湯が入っていた鍋のフチをつけようと したところ、ズレてしまい熱湯が左足甲あたりにかかり、火傷し た。	29	11	140201	30 ～ 49 人
24	2018	5	17 ～ 18	フライヤーで揚げ物の作業をしているときに、油がはねて右手に かぶる形で火傷を負った。	26	11	80209	10 ～ 29 人
25	2018	5	14 ～ 15	豆乳製造プラントの部品修理をしていた際、同プラントを洗浄し ていた先方の従業員が排出させたお湯が、体にかかり火傷した。	54	11	11301	50 ～ 99 人

26	2018	5	7 ～ 8	揚げ場でとんかつを揚げていたとき、とんかつを網バットに置くつもりが、下の油の中に落とし、油が飛び跳ね、手にかかった。	55	11	80209	100 ～ 299 人
27	2018	5	11 ～ 12	惣菜用油を片付けているときに、油がこぼれて長靴の中に入り、右足首まで油が入ってしまい火傷した。	24	11	80209	10 ～ 29 人
28	2018	5	11 ～ 12	廃液の中和作業中に何らかのタイミングで右目に入ったか、手で目の辺りをこすったのか痛みを感じ始め、帰宅後、目が赤くなった。	36	12	170209	10 ～ 29 人
29	2018	5	22 ～ 23	揚げ物に使用するフライヤーの油を抜き、水を沸騰させて洗浄した後、容器にお湯を入れて流しに捨てる際に、全部の熱湯を一度に捨てようとしたため、容器が熱くなっているのと重さで支えきれず、足に熱湯がかかってしまった。	28	11	80201	10 ～ 29 人
30	2018	5	9 ～ 10	検査室で微生物検査に使用する培地を作成中、99℃のフラスコを取り出し、作業台の上でゆすって攪拌作業をしていたところ、水蒸気と一緒にジェル状になった培地がフラスコから飛び出し右頬を火傷した。	55	11	80109	50 ～ 99 人
31	2018	5	17 ～ 18	作業場で缶詰の殺菌処理のため、熱湯を出すホースから蒸気のみが噴出し、ホースが暴れて蒸気が顔や腹部にかかった。	58	11	10103	—
32	2018	6	17 ～ 18	惣菜加工室で、作業終了後の清掃中、清掃用洗剤をプラスチック製タンクから携帯容器に移そうとしたとき、中の洗剤が跳ねて右目に入った。	51	12	10103	50 ～ 99 人

33	2018	6	17 ～ 18	工場で前処理作業中、ニーダーの釜を殺菌するため、計量カップに200ccの次亜塩素酸ナトリウム水溶液（原液）を用意していた。計量カップをニーダーの釜の上に置いていたところ倒れ、作業着の右腕上部に掛かったが、すぐに洗い流さずにいたため右腕全体に火傷を負った。	29	12	10109	100 ～ 299 人
34	2018	6	14 ～ 15	工場で、塗型剤を塗りライターで火を点け、塗型剤を乾かす作業をしているとき、塗型剤がズボンにこぼれて着火し、左膝下から足首に火傷を負った。	73	12	11002	1～ 9人
35	2018	6	8 ～ 9	工場で、洗剤を投入する際に手が滑り、アルカリ洗剤が右足に掛かり、すぐに水で流したが皮膚が熱傷のようになった。	36	12	10101	50 ～ 99 人
36	2018	6	16 ～ 17	工場1階苛性ソーダ保管庫で、苛性ソーダが入っている容器から使用する量だけ他の容器へ移し替える際に、2段重ねのコンテナがぐらついたため、左足で押さえたときに足前面に苛性ソーダが掛かった。水洗いした際に苛性ソーダが手にも触れてしまい、足と手を負傷した。	30	11	10105	10 ～ 29 人
37	2018	6	9 ～ 10	田んぼの畦畔で、草刈り機を使って草刈り作業中、バランスを崩して機械が体の方へ寄った際に、刈刃が左足に当たり、親指を切った。	22	8	60101	1～ 9人
38	2018	6	17 ～ 18	キッチンで鍋の掃除中、鍋を洗う際に使用する熱湯が台の上から落ちて、左腕全体に掛かり火傷を負った。	22	11	140201	—
39	2018	6	23 ～ 24	店内で閉店作業中、掃除用タオルがフライヤーの中に入ったため、取り除こうとした際、高温の油が顔等に掛かり火傷を負った。	18	11	140201	1～ 9人
			12	厨房で味噌汁の補充作業中、鍋を台の上きちんと置いていな				30 ～

40	2018	6	～ 13	かったため、鍋がひっくり返り、両太腿に味噌汁が掛かり火傷を負った。	54	11	140301	49 人
41	2018	7	～ 16 ～ 17	ドライアイスの梱包を作業台に移動させる際、右手くすり指を挟んでしまい、指が腫れ菌が入り化膿し、左右の手首付近に凍傷を負った。	51	11	10801	10 ～ 29 人
42	2018	7	～ 9 ～ 10	車両洗浄中に、洗剤をバケツに入れて運搬中、段差でつまずき転倒した際に、洗剤が顔面及び左上腕内側付け根部分に掛かり負傷した。	62	12	150109	10 ～ 29 人
43	2018	7	～ 19 ～ 20	餅取り作業終了後の清掃中に、屑蒸機の排水が長靴の中に入り、両足首を火傷した。	58	11	10104	50 ～ 99 人
44	2018	7	～ 14 ～ 15	フライヤー内の油の交換作業中、屋外にあった廃油用一斗缶に雨水が混入しているとは思わずに、フライヤー内の油（約180℃）が冷めるのを待たずにろ過機に入れ、ろ過機のホースを一斗缶の口に挿し排出スイッチを押し油を流し込んでいたところ、雨水と高温の油が混ざり反応し、一斗缶から勢いよく拭き出した油が顔、左肩、背中及び右手にかかり受傷した。	21	11	140201	10 ～ 29 人
45	2018	7	～ 17 ～ 18	惣菜部の作業場で、フライの作業中、空になったカゴをフライヤーに戻すときに、右足を滑らせてしまい、カゴがフライヤーの食用油の中に落ちてしまい、その油が首の前と右腕の前面にかかり火傷を負った。	20	11	80209	100 ～ 299 人
46	2018	7	～ 11 ～ 12	仕分け作業をしていたところ、置いてあったバッテリーが偶然倒れ、中に入っていた液体が漏れ出したところに座っていて、臀部にその液体がついてしまい、痛みを感じ赤く腫れて負傷した。	25	12	130201	30 ～ 49 人

									人
47	2018	7	12 ～ 13	院内滅菌室にて、高温の状態である滅菌器の排水作業中にホースが跳ねて、左手に熱湯がかかり負傷した。	39	11	130109	10 ～ 29	人
48	2018	7	18 ～ 19	店舗バックカウンター調理場フライヤーでフライドフーズ調理中、カゴをセッティングしているときに、誤って指を170℃の油の中に浸けてしまい火傷した。	17	11	80209	10 ～ 29	人
49	2018	7	17 ～ 18	工場にて、マシニングを使用して機械加工作業をしていた際、両手を負傷した。	27	12	11102	100 ～ 299	人
50	2018	7	17 ～ 18	工場にて、マシニングを使用して機械加工作業をしていた際、両手を負傷した。	27	12	170101	100 ～ 299	人
51	2018	7	8 ～ 9	活性炭再生作業中、交替引き継ぎ時に工場外のピット槽をpH紙にて確認したところ、強酸性を示したため、本来と違いあまりにも高い酸性だったため、希釈水酸化ナトリウム溶液の原料である苛性ソーダを投入した際、化学反応により爆発を起こし、ピット槽の熱湯が下半身に飛散し、両足に火傷を負った。	36	11	10909	10 ～ 29	人
52	2018	8	12 ～ 13	打設作業時、棒バイブレーターを使い、生コンを型枠の中に流し込んでいる際、棒バイブレーターが鉄筋を型枠の間に挟まり、生コンの中に両腕を入れ電源コードを引っ張って抜こうとする作業後、両腕に付いている生コンを10分程度放置し、その後両腕を洗浄、両腕の皮膚が赤くなり痛みを伴った、アルカリ熱傷と診断された。	31	12	10901	30 ～ 49	人

53	2018	8	16 ～ 17	惣菜作業場でフライヤーの掃除中、フライヤーの縁に置いていた拭き掃除用のタオルの端がすでに油に浸かっていたため、引き上げた拍子に油の飛沫が顔と首にかかった。	30	11	80209	50 ～ 99 人
54	2018	8	7 ～ 8	トラブルでハンガーラックが落下したため、落下物を取り上げようとした際、左足が滑り無電解ニッケル液の槽内に足が浸かり長靴の中に液が入り、熱傷を負った。	64	12	11204	50 ～ 99 人
55	2018	8	15 ～ 16	店内フロアにてドリンクバーの清掃時、寸胴鍋に入れた日替わり茶が倒れそうになったため、支えたところ熱いお茶がかかり、右肩・右腕を火傷した。	21	11	140201	30 ～ 49 人
56	2018	8	11 ～ 12	コンベクションオーブンで加熱中の豆腐の汁を取り出す際、誤って左足の甲にこぼしてしまい、被災した。	47	11	130201	100 ～ 299 人
57	2018	8	17 ～ 18	店舗内にて専用クリームを使用したフェイシャル施術の練習モデルをし、帰宅後の入浴時、顔を下向きにしてシャワーでクリームを洗い流したところ、右うなじに残っていたクリームが前に流れ両目に入り、負傷した。	45	12	80302	1～ 9人
58	2018	8	20 ～ 21	電子レンジから加熱されたソースが入ったタッパーを取り出す際に、勢いよく取り出したため、左手の甲の親指付け根部分にソースが掛かり、火傷を負った。	19	11	140201	10 ～ 29 人
59	2018	8	13 ～ 14	剥離液に素材を浸す作業中に、誤って軍手を着用した状態で素材を剥離液につけてしまい、右手は人差し指から小指にかけて水ぶくれ、左手は人差し指から中指にかけて水ぶくれとなった。	35	12	11204	30 ～ 49 人

60	2018	8	11 ～ 12	内部に少量の製品が残った状態の1t用コンテナの内部をジェット噴射器にて洗浄中、流れ出てくる製品が長靴から侵入し、左足首より下部は約6時間程度当該製品に触れていて、痛みを感じた。	27	90	10899	30 ～ 49 人
61	2018	8	11 ～ 12	内部に少量の製品が残った状態の1t用コンテナの内部をジェット噴射器にて洗浄中、流れ出てくる製品が長靴から侵入し、左足首より下部は約6時間程度当該製品に触れていて、痛みを感じた。	27	12	170101	100 ～ 299 人
62	2018	8	10 ～ 11	食品工場の加工場で、フィルターの洗浄作業中、苛性ソーダを使用してフィルターを洗浄していたところ、薬剤が皮膚に付着し、徐々に熱傷となった。	24	12	150109	10 ～ 29 人
63	2018	8	9 ～ 10	ボイル槽内の温度計測中、隣で鶏肉のボイル作業中で容器をボイル槽に入れた際、槽内の熱湯が跳ね上がり、温度計測作業者の長靴内に入り、左足甲の火傷に至った。	40	11	10109	50 ～ 99 人
64	2018	8	8 ～ 9	給食室で園児用の麦茶に使うお湯をポリタンクに入れ、冷やすため離れたシンクへポリタンクを持ち上げ移動し、縁に引っ掛けて持っていたタンクを滑らせ、両足に熱湯をかけてしまった。	33	11	130201	10 ～ 29 人
65	2018	9	16 ～ 17	液卵充填ラインで洗浄作業時に、移動式タンクの上（高さ700mm）にアルカリ洗剤（4kg）の入った容器を乗せたままタンクを移動中、容器が落下して洗剤が噴き出し、両目に入ってしまった。	52	12	10109	50 ～ 99 人
66	2018	9	5 ～ 6	キッチンにてフード内の清掃作業中、スプレーガンに入れていた洗剤を使用しながらスポンジたわしで擦っていたところ、手袋から伝ってきた洗剤が手首につき、右手首に化学熱傷を負った。	63	12	150101	500 ～ 999 人

									人
67	2018	9	17 ～ 18	惣菜作業室でフライヤーの油を交換するため、使った油をフライヤーから油受け缶に落としていたとき、許容量をオーバーして缶から溢れ、高温の油が靴下の上からくるぶしに掛かり右足くるぶしの内側を負傷した。	63	11	80209	100 ～ 299	人
68	2018	9	14 ～ 15	工場外でステンレス製品の溶接焼の除去作業で、ステンアップ電解液という酸性の強い溶剤を使ってステンアップ（機械）を使用して通電して除去を行う作業中、誤って電解液が飛んで左手首を受傷した。	47	12	11209	10 ～ 29	人
69	2018	9	17 ～ 18	事業所にて調理関係の後片付け中、カッター・ミキサー・ミルサーなどを衛生除菌のために次亜塩素酸液に浸けるため、次亜塩素酸の原液を入れようと容器のキャップを外した際、中の原液が飛び跳ねて右目に直接入り受傷した。	62	12	80209	—	
70	2018	9	17 ～ 18	生コンクリートプラントのスラッジ水槽内の残留物除去作業中、溢水した残留水を被ってしまい、時間の経過とともに皮膚が炎症を起こして火傷のような状態になった。	52	12	10901	1～ 9人	
71	2018	9	15 ～ 16	圃場にて農産物残渣を焼却処分していたところ、強風で火が舞い上がり、顔に火傷を負った。	33	11	60101	10 ～ 29	人
72	2018	9	10 ～ 11	工場消毒殺菌する際、使用する次亜塩素酸（20L）を小分けしたとき、2Lの容器が手から滑り落ちて液が跳ね返り、顔・目にかかって左目を負傷した。	61	12	80109	10 ～ 29	人
73	2018	9	16 ～ 17	液卵充填ラインで洗浄作業時に、移動式タンクの上（高さ700mm）にアルカリ洗剤（4kg）の入った容器を乗せたままタンクを移動中、容器が落下して洗剤が噴き出し、両目に入ってしまった。	52	12	10109	50 ～ 99	人

74	2018	9	5 ～ 6	キッチンにてフード内の清掃作業中、スプレーガンに入れていた洗剤を使用しながらスポンジたわしで擦っていたところ、手袋から伝ってきた洗剤が手首につき、右手首に化学熱傷を負った。	63	12	150101	500 ～ 999 人
75	2018	9	17 ～ 18	惣菜作業室でフライヤーの油を交換するため、使った油をフライヤーから油受け缶に落としていたとき、許容量をオーバーして缶から溢れ、高温の油が靴下の上からくるぶしに掛かり右足くるぶしの内側を負傷した。	63	11	80209	100 ～ 299 人
76	2018	9	14 ～ 15	工場外でステンレス製品の溶接焼の除去作業で、ステンアップ電解液という酸性の強い溶剤を使ってステンアップ（機械）を使用して通電して除去を行う作業中、誤って電解液が飛んで左手首を受傷した。	47	12	11209	10 ～ 29 人
77	2018	9	17 ～ 18	事業所にて調理関係の後片付け中、カッター・ミキサー・ミルサーなどを衛生除菌のために次亜塩素酸液に浸けるため、次亜塩素酸の原液を入れようと容器のキャップを外した際、中の原液が飛び跳ねて右目に直接入り受傷した。	62	12	80209	—
78	2018	9	17 ～ 18	生コンクリートプラントのスラッジ水槽内の残留物除去作業中、溢水した残留水を被ってしまい、時間の経過とともに皮膚が炎症を起こして火傷のような状態になった。	52	12	10901	1～ 9人
79	2018	9	15 ～ 16	圃場にて農産物残渣を焼却処分していたところ、強風で火が舞い上がり、顔に火傷を負った。	33	11	60101	10 ～ 29 人
80	2018	9	10 ～ 11	工場消毒殺菌の際、使用する次亜塩素酸（20L）を小分けしたとき、2Lの容器が手から滑り落ちて液が跳ね返り、顔・目にかかって左目を負傷した。	61	12	80109	10 ～ 29 人

88	2018	9	10 ～ 11	工場で消毒殺菌する際、使用する次亜塩素酸（20L）を小分けしたとき、2Lの容器が手から滑り落ちて液が跳ね返り、顔・目にかかって左目を負傷した。	61	12	80109	～ 29 人
89	2018	9	11 ～ 12	倉庫内で米の積み込み及び誘導作業中に倒れたため、直ちに倉庫外へ移動した。倉庫内は排気ガスの臭いがしており、一酸化中毒と診断された。	61	12	170209	30 ～ 49 人
90	2018	9	5 ～ 6	キッチンにてフード内の清掃作業中、スプレーガンに入れていた洗剤を使用しながらスポンジたわしで擦っていたところ、手袋から伝ってきた洗剤が手首につき、右手首に化学熱傷を負った。	63	12	150101	500 ～ 999 人
91	2018	9	17 ～ 18	惣菜作業室でフライヤーの油を交換するため、使った油をフライヤーから油受け缶に落としていたとき、許容量をオーバーして缶から溢れ、高温の油が靴下の上からくるぶしに掛かり右足くるぶしの内側を負傷した。	63	11	80209	100 ～ 299 人
92	2018	9	14 ～ 15	工場外でステンレス製品の溶接焼の除去作業で、ステンアップ電解液という酸性の強い溶剤を使ってステンアップ（機械）を使用して通電して除去を行う作業中、誤って電解液が飛んで左手首を負傷した。	47	12	11209	10 ～ 29 人
93	2018	9	17 ～ 18	事業所にて調理関係の後片付け中、カッター・ミキサー・ミルサーなどを衛生除菌のために次亜塩素酸液に浸けるため、次亜塩素酸の原液を入れようと容器のキャップを外した際、中の原液が飛び跳ねて右目に直接入り受傷した。	62	12	80209	—
94	2018	9	17 ～ 18	生コンクリートプラントのスラッジ水槽内の残留物除去作業中、溢水した残留水を被ってしまい、時間の経過とともに皮膚が炎症を起こして火傷のような状態になった。	52	12	10901	1～ 9人
			15					10

95	2018	9	～ 16	圃場にて農産物残渣を焼却処分していたところ、強風で火が舞い上がり、顔に火傷を負った。	33	11	60101	～ 29 人
96	2018	9	～ 11	10 工場で消毒殺菌する際、使用する次亜塩素酸（20L）を小分けしたとき、2Lの容器が手から滑り落ちて液が跳ね返り、顔・目にかかって左目を負傷した。	61	12	80109	10 ～ 29 人
97	2018	10	～ 13	12 原料ヤードで、セメント原料用の産業廃棄物（硫酸マグネシウム）が入ったフレコンバッグの開梱作業中、廃棄物に含まれた有機溶剤で中毒症状を起こした。	54	12	10901	10 ～ 29 人
98	2018	10	～ 16	15 4tトラック荷台に鋼管を積み込む際、油が落ちていること気付かず、足を滑らせて転落した。	45	2	40301	30 ～ 49 人
99	2018	10	～ 18	17 工場内のWSS工程で、週2回ほど接着剤の製造業務に従事していた。攪拌された製品サンプルの採取時、若しくはオープン内での作業時に、作業服に製品が付着・浸透したことにより、長期にわたって皮膚と接触したため、接触性皮膚炎を発症した。	51	12	10899	50 ～ 99 人
100	2018	10	～ 15	14 焼却施設内の消石灰サイロ内で消石灰の吸引作業中、足下の消石灰を吸引したところ、周囲の消石灰が崩れた。その際、被災者が胸まで消石灰に埋まり、熱傷を負った。	24	12	30209	30 ～ 49 人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。